

T07-4

[技術解説]

全方位音源探査システム Noise Vision

日東紡音響エンジニアリング株式会社



あらゆる騒音対策の基本は、音が放射されている場所に対して対策を行う「音源対策」です。音源対策を実施するためには、音が放射されている場所、評価点に対して寄与の大きい場所を的確に把握する必要があります。それを私達は「音源探査」と呼んでいます。Noise Vision は音源探査を効率的に行うことを目的として開発された、まったく新しいコンセプトのシステムです(特許出願中)

SDT

新しいコンセプト - 「全方位」音源探査システム



これまでの音源探査システムに大きく欠如しているものは何でしょうか？その一つを私たちは「方位・方向」と考えました。Noise Vision は、「音を放射している物体が、周囲のどこにあるかわからない。」という状態から音源探査を行うことのできる、「全方位」音源探査システムです。これに対して、これまでの音源探査システムは、「音を放射している物体に対して、どの部位が最も寄与が大きいか」という視点で音源探査を行います。つまり、何らかの方法で音を放射している対象を絞り込んだ状態からでないと使用できないのです。

Noise Vision のセンサーは、音響測定器としては珍しい球体です。その表面には 31 個のマイクロホンを装備。センサーの周囲のいかなる方向から到来する音に対しても、一度の測定で音源探査解析ができるように設計されています。